

ABA2019-K017 号

令和元年 6 月

(一財) 愛知県バスケットボール協会所属

JBA登録チーム指導者 様

JBA公認コーチ有資格者 様

(一財) 愛知県バスケットボール協会

審判委員会

指導者養成委員会

規律委員会

インテグリティの精神（誠実さ、真摯さ、高潔さ）に
相反する考え方・捉え方への注意（お願い）

平素は、当協会の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、標記の件につきまして、過日、アンダーカテゴリーチームの方より当協会へ問い合わせありました。

（当該カテゴリー会合）で、コーチの振る舞いもテクニカルファウルの対象となるという事に触れ、（当該カテゴリー）の関係者かつ指導者の方の発言に対して『これっていいのですか？』という問い合わせでした。

その発言内容は、概ね下に記述した内容です。

- このテクニカルファウルは、ベンチテクニカルだからサインをしたコーチに課せられる。
- 保護者にE級を取らせて、保護者にサインさせてコーチとしてベンチに座らせ、実質的にベンチで指示ができるアシスタントコーチとして自身はベンチインすれば、（自身の）振る舞いがテクニカルを取られても（仮の）コーチが退場してだけで、あまり影響がない。
- ルール上問題ない。

これはルール上問題があるなし以前の事です。コーチライセンスの階級にかかわらず、子どもたちにバスケットボール技能はもちろん、努力や協力することの大切さ、フェアプレー精神など人間性を育む立場であるアンダーカテゴリーの指導者として、これが本心であるならば、決して認めることはできません。

多くの指導者の方は、JBAが推進しているインテグリティ（誠実さ、真摯さ、高潔さ）教育を理解していただけていると思います。

私たちはインテグリティを保つ必要があります。この意識を高めなければ、バスケットボールの魅力が損なわれてしまいます。それは、バスケットボール競技だけではなく、部活動顧問、スポーツ指導者の体罰や暴言がマスコミ等で取り上げられる度に誰もが実感してきました。バスケットボールにかかわる一人一人が意識を高め、注意していかなければなりません。

特に、アンダーカテゴリー指導者の方は、自らも学ぶ姿勢を忘れず、本主旨をご理解の上、今後も子どもたちへのバスケットボール指導にご尽力いただきますよう、お願いいたします。